

とっとり観光ニュース 2013年 10月号

1. 山陰最大級の光の祭典、鳥取2大イルミネーション

～自然が残した雄大な砂丘が光の装い新たに点灯～



鳥取砂丘イルミネーション



今年の鳥取砂丘イルミネーション XI のテーマは「10万年のキセキ(軌跡・奇跡)」です。クリスマスシーズンに向けて、今までにない新しいイルミネーションが見られます。通称「馬の背(砂丘の丘陵部分)」では、4箇所×2基の投光機によって浮かび上がる砂丘の陰影が、幻想的な光景が映し出されます。

県産材の杉を使って、鳥取特産である梨の木クリスマスツリーを作成します。オーナメントのような

直径10センチ程度の照明を、梨の実に見立て、来場者の願いごとやメッセージを書いた梨袋をかぶせます。優しい明かりに包まれた梨ツリーは、願いが実になるよう輝き続けます。また、砂丘駐車場付近では、砂丘の斜面を活かしてLED電球を20万球以上使用し、「因幡の白うさぎ」の一場面をイルミネーションで表現。日本海の波やサメ、ウサギをデザインした光は、動く物語を楽しんでいただける、幻想的な演出となっています。

イルミネーション開催期間は、写真で見かける美しい風紋(ふうもん)だけではなく、雨や風が強い晩秋から早春に見られる砂柱(さちゅう)、雨が降った後、砂の表面が乾いて斜面を滑るように流れる砂簾(されん)といった、自然の力が作り出す芸術作品も観ることが出来ます。特に、早朝まだ誰も足を踏み入れていない砂丘を歩くと、鳥取砂丘の表情を感じられることでしょう！

■点灯日時／[1部] 2013年11月23(土)～12月7日(土) 17:00～22:00

[2部] 2013年12月14(土)～12月25日(水) 17:00～22:00

(1部・2部イルミネーションのデザインが変更します)

■会場／鳥取砂丘市営駐車場周辺(鳥取市福部町湯山)

■観覧料金／無料

■問合せ先／新生鳥取砂丘イルミネーション実行委員会 ホームページ <http://2013.tottori-sakyu.jp/index.html>

～夜の砂像は驚きと感動のクリスマス～

砂の美術館では、今年はじめて3Dプロジェクションマッピングを開催いたします。近年、世界で注目される最先端の映像演出。プロジェクターを使用し、建物などに3D映像を投影、それはまるで建物から飛び出すような立体映像であり、観る者に衝撃と感動を与えます。

■開催期間／2013年12月14(土)～12月25日(水) 9:00～20:00 ※開催期間中は22:00まで開催

1回目 16:00～、2回目以降 30分毎に開催、最終 21:30

■会場／鳥取砂丘 砂の美術館(鳥取市福部町湯山 2083-17)

■観覧料金／※砂の美術館通常入館料のみ 入館料／一般:600円、小中学生:300円

■問合せ先／鳥取砂丘 砂の美術館 電話 0857-20-2231 ホームページ <http://www.sand-museum.jp/>

～世界最大級の夜間庭園でロマンチックなクリスマス～



花回廊の展望の回廊を囲む、およそ8万平方メートルの庭園が、昼間とは違うロマンチックな夜のイルミネーションに大変身！夜の照明や月明かりの中で園内を彩る「ムーンライトフラワーガーデン」は、東京タワーや横浜ベイブリッジの照明を手掛けた、世界的照明デザイナー石井幹子氏のデザインにより、山陰最大級30万球のイルミネーションで庭園内の木々や花を光で美しく引き立てます。

年内の土・日曜日の夜19時から「花回廊冬花火」、200発の花火が打ち上げられるほか、レストラン

も夜間営業でクリスマスメニューとして提供いたします。冬の花とイルミネーションが、クリスマスシーズンを一層華やかに彩ります。

■開催日時／2013年11月29日(金)～12月25日(水) 点灯17:30～21:00(最終入園20:30)

2014年1月1日(水)～1月5日(日)、1月11日(土)～1月13日(祝月)、

1月18日(土)～1月19日(日)、1月25日(土)～1月26日(日) 点灯17:30(予定)～20:00 閉園

※休園日：2013年12月3日(火)と12月10日(火)

■入園料／大人 700円(560円)・小中学生 350円(280円) ※()内は20名以上の団体料金

■問合せ先／とっとり花回廊(西伯郡南部町鶴田110) 電話 0859-48-3030

ホームページ <http://www.tottorihanakairou.or.jp/>

2. 紅葉の撮影スポットのご紹介

山や高原では、もう秋の気配が近づいてきています。紅葉狩りの季節となり、ドライブを兼ねて写真撮影は、いかがでしょう。

(1) 板井原(いたいばら)集落(八頭郡智頭町市瀬板井原)

昭和30年代の山村の原風景が残る集落で、常緑樹の杉と真っ赤な紅葉が一段と美しく、里の秋を思わせる風景です。また同じ地区内にある諏訪神社(八頭郡智頭町智頭)の境内は、古くから紅葉の名勝地として地元の方に愛されています。



(2) 芦津(あしづ)溪谷(八頭郡智頭町芦津)

紅葉と天然杉の緑とのコントラストが美しく、溪谷を彩ります。遊歩道は距離や高低差が程良く、散策しながら紅葉を楽しむことができます。

(3) 小鹿溪(おじかけい)(東伯郡三朝町神倉)

三徳川の支流、小鹿川の上流に見られる溪谷で、国名勝に指定されています。遊歩道も整備されており、紅葉のコントラストを見ながら、ゆっくりした時間を過ごすことができます。



(4) 鍵掛峠(かぎかけとうげ)

大山の南壁と七色に染まるブナのコントラストが鮮明で、天候が良ければ絵画のような美しい紅葉の景色が見られます。極上の指定席で、秋を満喫しませんか。

～とっておき紅葉ドライブルート東大山(野添(のぞえ)～鏡ヶ成(かがみがなる)～御机(みつくえ))～

大山環状道路の倉吉市関金町から江府町鏡ヶ成に向かうルートは木々が色づいた景色が楽しめるドライブルートになっており、その間にかかる東大山大橋(長さ170メートル、高さ45メートル)からの360度パノラマでみる紅葉は絶景です。

紅葉狩りと共に秋の楽しみは食ですよ。大山のブナ林に囲まれた道中、気になる手書きの大きな看板が目を引きまします。そこは大山で育ったしいたけが評判の食事処「しいたけ園こだち」です。しいたけの炊き込みご飯、しいたけ焼きなど、肉厚の天然のしいたけが旨みと香りいっぱい口の中で広がり美味！山菜はもちろん、園内で湧く地下水と自家栽培のお米、自家製味噌にいたるまで、自然の恵みをふんだんに生かした料理は、身体の隅々まで天然素材の美味しさが染みわたるようになります。



東大山大橋

しいたけ園こだち(日野郡江府町御机 296) 電話 0859-75-3148

■営業期間／4月下旬～11月下旬 11:00～16:00 (不定期に休みあり)

■定休日／木曜日

3. 温泉と観光地巡り！冬季バス運行開始

今年の冬も三朝温泉発着のバスが運行されます。三朝温泉に宿泊して翌日は、お帰りまでの時間を鳥取県内の観光でお楽しみいただけます。

【三朝号】(新大阪～三朝温泉直行バス)

■運行期間／新大阪⇄三朝温泉直行バス 2013年12月13日(金)～12月23日(月祝)

2014年1月10日(金)～3月16日(日) 合計77日間運行

■行程／JR新大阪駅南側団体観光バス駐車場(9:00発)→三朝温泉バス停(13:15頃着)

三朝温泉バス停(14:20発)→道の駅燕趙園(15:00発)→

→JR新大阪駅南側団体観光バス駐車場(19:00頃着)

■バス代往復／大人 3,800円、小人 1,900円

■旅行実施企画／(株)日本交通旅行社 電話 0858-26-1117

■問合せ先／三朝温泉旅館協同組合 電話 0858-43-0431

【ルンルンバス】(三朝温泉～元帥酒造～梨記念館～倉吉赤瓦周辺～道の駅燕趙園)

三朝温泉にご宿泊の翌日は「ルンルンバス」で、お帰りの時間まで中部の観光地巡りを、お楽しみください。

■運行期間／2014年1月11日(土)～3月16日(日) 週末の土・日・月曜日のみ。合計26日間運行

■行程／三朝温泉バス停(9:25)→三朝温泉入口バス停(9:30)→三朝ロイヤルホテル前(9:35)→

→元帥酒造(9:50～10:10)→鳥取二十世紀梨記念館(10:15～10:55)→

→倉吉白壁土蔵群・赤瓦(11:00～12:50※各自食事時間含む。食事は旅行代金に含まない)→

→道の駅燕趙園(13:15～14:00)※大阪直行バス「三朝号」(15:00発)に接続

→JR倉吉駅(14:15)※JR倉吉駅でスーパーはくと10号(14:25発)に接続

■旅行代金／大人 2,500円、小人1,500円

■旅行実施企画／(株)日本交通旅行社 電話 0858-26-1117

■問合せ先／三朝温泉旅館協同組合 電話 0858-43-0431

【かにかに砂丘号】（三朝温泉—白兔神社—鳥取賀露港—鳥取砂丘—道の駅燕趙園）

三朝温泉にご宿泊の翌日、ちょっと足をのばして鳥取の観光やショッピングで楽しみませんか。

■運行期間／2013年12月14日(土)～24日(火)、2014年1月11日(土)～3月17日(月)

合計77日間運行

■行程／三朝温泉バス停(9:35)→三朝温泉入口バス停(9:40)→三朝ロイヤルホテル前(9:45)→

→白兔神社(10:30～10:50)→鳥取賀露港(11:05～11:35)→

→鳥取砂丘観光・お買物・昼食(11:50～13:10)→

→JR鳥取駅(13:30) 降車のみ ※スーパーはくと10号(14:54発)に接続

→道の駅燕趙園(14:20) 降車のみ ※大阪直行バス「三朝号」(15:00発)に接続

→JR倉吉駅(14:30) 降車のみ

■旅行代金／昼食付き 大人 3,000円、小人 2,400円 ※昼食は、砂丘センター「せいろ蒸し定食」

※特典：ハズレなし抽選、蟹汁、らっきょう小袋、砂丘観光リフト券、白うさぎまんじゅう1個

■旅行実施企画／(株)日本交通旅行社 電話 0858-26-1117

■問合せ先／三朝温泉旅館協同組合 電話 0858-43-0431

4. 鳥取の食

～鳥取因幡、日本一の甘柿～



八頭町内で収穫される花御所柿(はなごしょがき)の果樹園では、11月下旬～12月中旬にかけて一面たわわに実った花御所柿が見られます。鳥取県の東部、因幡地方にのみ栽培されている非常に珍しい柿で、甘柿の日本一と称されています。大振りで丸く平たい形で、先が少しふっくら尖っています。柿の肉質がとても緻密(ちみつ)で果汁が多く、糖度が20度以上という、とても甘い品種です。とろけるような味は甘柿の中で最高といわれています。地元ではドレッシングやゼリー、ロールケーキにも使われ、季節問わず身近にご賞味いただけます。また毎年秋には、花御所柿が食べ放題のイベントが開催されますので、日本一の柿をお目当てに因幡へお越し下さい。

～「第18回物産館みかど花御所柿祭り」～

■日時場所／2013年12月1日(日)10:00～15:30 物産館みかど(八頭郡八頭町大門 389-1)

■問合せ先／物産館みかど 電話 0858-72-37301

5. 世界ジオパークエリアで開催される、初の都市緑化フェア



第30回全国都市緑化とっとりフェア「水と緑のオアシスとっとり2013」が開催しました。主会場となる日本一広い池、湖山池のほとりに広がる湖山池公園では、鳥取の風土に根付くサンインギク、ハマナスなどの植物を使ったナチュラルガーデンで、来場される皆様をお迎えいたします。

また庭園の観覧だけでなく、ナチュラルガーデンを監修する、人気のガーデンデザイナーのポール・スミザー氏のトークショー、フラワーアレンジメント体験、親子で楽しめる遊びや自然体験ができるほか、草花が購入できる市場、鳥取

のグルメコーナーなど、多くの方に楽しんでもらえるイベントとなっています。

■日時場所／2013年9月21日(土)～11月10日(日) 開場時間 9:30～17:00(11月は16:30まで)

主会場：湖山池公園(鳥取市桂見)

サテライト会場：東郷湖羽合臨海公園

(中国庭園燕趙園：湯梨浜町引地 565-1、あやめ池公園：湯梨浜町藤津 650)

とっとり花回廊(西伯郡南部町鶴田 110)

■問合せ先／緑のまちづくりオフィス 電話 0857-25-3511 ホームページ <http://oasistottori.jp/index.html>

6. イベント情報

(1) 食のみやこ鳥取県フェスタ

鳥取県の各市町村の自慢の特産品やご当地グルメがコカ・コーラウエストスポーツパークに大集合。会場内は4つのエリアに分かれ、「大地と海の恵みエリア」では、鳥取和牛ミニステーキの試食をはじめ、牛乳、米粉料理やキノコ、花壇・山野草苗の販売。「鳥取の味・交流エリア」では、食文化を知っていただくため、牛骨ラーメンなどのご当地グルメを試食販売。「ふるさと自慢エリア」では、各市町村自慢の果物、野菜、焼き鳥、水産物など、地域の特産品が一同に集まります。「啓発展示エリア」では、鳥取の農林水産業の新技术、取組を紹介します。

■日時場所／2013年11月9日(土)10:00～16:00 ・ 11月10日(日)9:00～15:00

コカ・コーラウエストスポーツパーク(鳥取県立布勢総合運動公園内(県民体育館周辺))

■お問合せ／食のみやこ鳥取県フェスタ実行委員会(事務局：県庁農林水産部農政課)

電話 0857-26-7257

(2) 行列のできる、ゆでズワイガニの試食

年に一度の恒例行事、境港水産まつりでは県内外の買い物客に人気のイベントです。セリ体験や魚のつかみどり、体験船上、境漁港に水揚げされた新鮮な魚介類、水産加工物等がイベント特別価格で販売されます。カニ汁、ハタハタ焼き、イワシのつみれ汁、ゆでズワイガニ無料試食コーナーは長蛇の列になるほど人気があり、会場は多くの人で賑わいます。

～第30回境港水産まつり～

■日時場所／2013年10月13日(日) 8:00～15:00 境港市昭和町(魚市場周辺)

■問合せ先／(一社)境港水産振興協会 電話 0859-44-6668



昨年境港水産まつりの様子

(3) 植田正治が生涯こだった山陰

今年は植田正治生誕100年にあたり、これを機に開催している特別企画展の第3弾は、植田正治と同じ時代を生きた著名な写真家ロベール・ド・アノーとの二人展です。両者共通する「子ども」をメインテーマとし、今回、ド・アノーのご遺族のご厚意により日本初公開となる作品を含む約70点もの貴重な作品も見どころです。

■会期時間／2013年10月5日(土)～11月30日(土) 休館日：火曜日 9:00～17:00(入館は閉館30分前)

■会場場所／植田正治写真美術館(西伯郡伯耆町須村 353-3)

■問合せ先／植田正治写真美術館 ホームページ <http://www.japro.com/ueda/>

(4) 内湯と露天風呂で癒しの湯、天然温泉日帰り入浴施設オープン

大山町大山(だいせんちょうだいせん)の大山寺参道沿いに、大山火の神岳(だいせんひのかみだけ)温泉「豪

円湯院(ごうえんゆいん)が2013年11月2日(土)オープンします。泉質は弱アルカリ単純温泉。男湯、女湯とも大浴槽、露天風呂があり、週末や祝日は伝統芸能や市場、お祭りのようなイベントも開催します。

■問合せ先／日本海観光開発株式会社 豪円湯院準備室 電話 0859-54-4911

7. コラム とつとりの山の楽しみ方(3)

智頭といえば、因幡街道沿いに残る宿場の風情を楽しみながらの町歩き、最近では芦津溪谷での森林セラピーなど豊かな自然や歴史を活かした観光メニューの充実に力を入れています。智頭杉で知られた智頭の山々の美林を縫うようにして、トレッキングコースも整備されてきました。今回はその中でも板井原集落を発着点とするポピュラーなトレッキングコースを紹介しましょう。

【牛臥山(うしぶせやま)～海上山(かいじょうさん)トレッキングコース】

智頭の町の背後にゆったりと牛が寝そべっているようにも見えることから名づけられた「牛臥山(728M)」。この山頂からは智頭の町が足元に広がり、籠山(かごやま)や那岐山(なぎさん)、穂見山(ほのみせん)など900～1200Mの山並みを南西方向に望むことができます。

出発点は、日本の山村集落の原風景が残る板井原集落。集落入口の駐車場(トイレあり)にコースの概念図も掲げられており、これから歩くコースを確認しましょう。しばらくは杉林の中の古くからの生活道でもあったつづら折りを「古峠」まで登ります。そこからは左折し、樹林の稜線をたどります。一部急登もありますが、やがて牛臥公園からの登山道と出会い、そこから15分程度で牛臥山山頂です。



海上山へは、少し引き返した地点の分岐を右に取り、あまり展望のきかない樹林の道をアップダウン、約30分程度で「海上山(786M)」です。ここはほぼ展望はなく、さらに10分ほど茅の尾根道をゆくと、このコースの最高点800Mの展望広場に着きます。ほぼ360度展望が開け、穂見山、沖ノ山(おきのやま)、遠くには扇ノ山(おおぎのせん)、目を凝らせば鳥取の市街地も見晴らすことができます。

下りは、けっこう急な道を一気に峠地蔵のある鞍部まで下り、左の谷筋の杉林の道を抜け、舗装された林道をひたすら歩き、1時間弱で板井原集落(いたいばらしゅうらく)に出ます。

伝統的建造物群保存地区にも指定されたこの集落は、住む人こそ少ないものの、カフェや食事処もあり、秘境の趣にひかれ、多くの方が訪れるようになりました。駐車場までは集落の中の生活道でもある6尺道を通り、戻りましょう。

■牛臥山～海上山トレッキングコース(所要時間約3時間)/板井原駐車場～(65分)～牛臥山山頂～(45分)～展望広場～(20分)～峠地蔵～(45分)～板井原集落～(5分)～駐車場

■問合せ先／智頭町総合案内所(智頭町観光協会) 電話 0858-76-1111

発行：平成25年9月25日

〔とっとり観光ニュースとは…〕

私たちがおすすめする最新の鳥取県内のイベントや観光情報をご案内しています。掲載内容につきましては、マスコミ、旅行会社の皆さまをはじめ、多くの方にご活用いただけるように定期的にお届けします。複製・転載可です。(一部画像、文章を除く。) ご不明な点はお気軽にお問い合わせください。

〔編集・発行・問合せ〕公益社団法人 鳥取県観光連盟

電話 0857-39-2111 FAX 0857-39-2100 E-mail kanren@tottori-guide.jp

鳥取県の観光情報はこちら → とっとり旅の生情報 <http://www.tottori-guide.jp/>